

技術参考資料

パケット交換サービスのインタフェース

(INSネット通信編)

NTTコミュニケーションズ株式会社

本資料の内容は、機能追加などにより追加、変更されることがあります。

まえがき

本資料は、既にサービスを行っているパケット交換サービスの内容に対し、新たにサービスを提供するINSネットサービスを利用する端末とパケット交換サービスを利用する端末が相互通信する場合の、パケット交換網とこれに接続されるパケット形態端末とのインタフェースについて既存のインタフェースとの差分のみを記述しています。

既存のサービスについては、既刊の技術参考資料「パケット交換サービスのインタフェース（PT編）第2版」、「パケット交換サービスのインタフェース（NPT編）」、「パケット交換サービスのインタフェース（DDX-TP編）第2版」を、また、INSネットサービスについては「INSネットサービスのインタフェース」を、御参照下さい。

平成2年6月

目 次

第1章 概要	1
第2章 契約時の指定及び選択事項	1
2.1 品目	1
2.2 指定事項	2
2.3 付加機能	3
第3章 通信と課金	3
3.1 通信方法	3
3.2 課金	3
第4章 INSネットのユーザと通信する場合の注意事項	4
4.1 接続制御手順〔X.25(80)Call〕	4
4.1.1 アドレス形式	4
4.1.2 特定端末の指定方法	4
4.1.3 ユーザファシリティとDTEファシリティ	5
4.1.3.1 ユーザファシリティに関する注意事項	5
4.1.3.2 DTEファシリティに関する注意事項	6
4.1.3.3 DTEファシリティのコーディング	6
4.1.3.4 発アドレス拡張ファシリティフォーマット	7
4.1.3.5 着アドレス拡張ファシリティフォーマット	7
4.1.3.6 エンド・エンド転送遅延ファシリティフォーマット	7
4.1.3.7 最小スループットクラスファシリティフォーマット	7
4.1.3.8 優先データネゴシエーションファシリティフォーマット	7
4.2 データ転送手順〔X.25(80)Data〕	10
4.2.1 割り込み手順の注意事項	10
4.3 パケットフォーマットとパケット内情報	10
4.3.1 発呼要求（CR）パケットフォーマットとパケット内情報一覧	10

4.3.2	接続完了 (CC) パケットフォーマットとパケット内情報一覧	10
4.3.3	切断指示 (CI) パケットフォーマットとパケット内情報一覧	10
4.3.4	着呼 (CN) パケットフォーマットとパケット内情報一覧	10
4.3.5	着呼受付 (CA) パケットフォーマットとパケット内情報一覧	11
4.3.6	復旧要求 (CQ) パケットフォーマットとパケット内情報一覧	11

第1章 概要

INSネットのユーザとパケット交換サービスを提供する端末は、CCITT勧告の1980年版X.25、及び、1984年版X.25に準拠したパケット形態端末機器（PT：Packet Mode Terminal）を対象とします。

本技術参考資料では、CCITT勧告の1980年版X.25、及び、1984年版X.25の双方のPTを“X.25(80)”と表現してあります。

1976年版X.25〔X.25(76)〕のパケット形態端末機器及び一般端末機器（NPT：Non-Packet Mode Terminal）はINSネットのユーザとパケット交換サービスの利用はできません。

なお、INSネットでのパケット交換サービスのインタフェースは、CCITT勧告の1984年版X.25に準拠しています。

パケット交換サービスのインタフェースの概要及び、端末機器の接続形態とインタフェースモジュールについては「パケット交換サービスのインタフェース（PT編）第2版」を参照して下さい。

第2章 契約時の指定及び選択事項

INSネットのユーザとのパケット交換サービスを利用する場合は、利用の有無の契約をする必要はありません。ただし、「品目」、「指定事項」及び「付加機能」の指定及び選択については、注意事項として以下に示します。それ以外はパケット交換サービスで契約したものがそのまま適用されます。

2.1 品目

INSネットのユーザとパケット交換サービスを利用する品目を表2.1に示します。

表 2.1 品目

項目	概 要		対象端末	登録・ 指定事項	備 考
通信 速度	P Tは、通信速度別に次の品目があります。		P T (80)	品目の指 定をして 下さい	——
	2400b/s	2400ビット/秒の符号伝送が可能なもの			
	4800b/s	4800ビット/秒の符号伝送が可能なもの			
	9600b/s	9600ビット/秒の符号伝送が可能なもの			
	48Kb/s	48Kビット/秒の符号伝送が可能なもの			

2.2 指定事項

I N S ネットのユーザとパケット交換サービスする際の指定事項を表 2.2 に示します。

表 2.2 指定事項

項 目	概 要	登録・指定事項			備 考
ウィンド ウサイズ の指定	相手 D T E へ 送達確認無し に連続して送 信できるパケ ット数をウィ ンドウサイズ と言います。 P V C の場合 、 L C N 単位 に指定して下 さい。	決定スループット クラス(ビット/秒)	パケットサイズ (オクテット)	最大ウィンド ウサイズ	V C の場合は、 呼設定時左記と 同様に設定しま す。
		9600	128	5	
			256	4	
		4800 以下	512, 1024, 2048, 4096	2	
			128, 256	4	
		512, 1024 2048, 4096	2		

2.3 付加機能

(1)グループ形閉域接続

I N S ネットのユーザとグループ形閉域接続サービスを契約することは出来ません。

(2)相手固定接続

I N S ネットのユーザと相手固定接続を行う場合、I N S ネットのユーザが利用するBチャンネル番号、もしくはDチャンネルでのT E Iを指定する必要があります。

第3章 通信と課金

3.1 通信方法

I N S ネットのユーザと通信する場合であっても、パケット形態端末（P T）の通信方法とほとんど同じですが、通信方法における差分については第4章「I N S ネットのユーザと通信する場合の注意事項」を参照して下さい。

3.2 課金

I N S ネットのユーザと通信する場合であっても、発信課金を原則とし、D T Eから送信するパケット単位で課金されます。

パケットの種類、及び課金・非課金の区別については、技術参考資料の「パケット交換サービスのインタフェース（P T編）第2版」を参照して下さい。

なお、着信課金も可能です。

第4章 INSネットのユーザと通信する場合の注意事項

この章では、PTが相手選択接続でINSネットのユーザと通信を行う場合の呼の設定・呼の解放及びデータ転送手順についての差分を述べます。

本章で記述していない部分については、従来の手順と変わりはありません。詳しくは、技術参考資料「パケット交換サービスのインタフェース（PT編）第2版」を参照して下さい。

INSネットサービスを利用するユーザとパケット交換サービスのPTとの相互通信で、通信に必要な手順で注意すべき内容は以下の通りです。

接続制御手順〔X. 25 (80) Call〕において、

- (1) DTEアドレス形式に関する事項
- (2) ユーザファシリティとDTEファシリティに関する事項

また、データ転送手順〔X. 25 (80) Data〕において、

- (3) 割り込み手順に関する事項
- があります。

4.1 接続制御手順〔X. 25 (80) Call〕

4.1.1 アドレス形式

INSネットとの発着呼時の相手アドレス形式を以下に示します。

<相手アドレス形式>

「1」+「0」+「81」+「市外局番」+「市内局番」+「加入者番号」

なお、「市外局番」には1桁目の「0」は含まれません。

パケットのDTEアドレス部の具体的な例を、“4.3項「パケットフォーマットとパケット内情報」”に示しますので参照して下さい。

4.1.2 特定端末の指定方法

INSネットにおける同一インタフェース上の特定端末を発信ユーザ側で指定するには、X. 25発呼要求パケットのDTEファシリティの中の「着アドレス拡張ファシリティ」を利用することができます。

4.1.3 ユーザファシリティとDTEファシリティ

この項では、ユーザファシリティとDTEファシリティに関する注意事項を述べます。ただし、ユーザファシリティとDTEファシリティの機能に変更はありません。機能の詳細は、技術参考資料「パケット交換サービスのインタフェース (PT編) 第2版」のインタフェースモジュール図 3.8 項および 3.9 項を参照して下さい。

4.1.3.1 ユーザファシリティに関する注意事項

INS ネットのユーザとPTが通信する場合のユーザファシリティに関する注意事項を述べます。

(1) 着回線アドレス変更通知

INS ネットでは、着回線アドレス変更通知ファシリティは基本サービス (契約の有無にかかわらずサービスの提供を受けられます) です。

着呼DTEが着回線アドレス変更通知ファシリティを付加した場合、INS ネットのユーザにはこのファシリティが通知されます。また、INS ネットのユーザが着回線アドレス変更通知ファシリティを付与した場合、DTEが着回線アドレス変更通知ファシリティを契約していれば、これが通知されます。もし、DTEが本ファシリティを未契約のときは、INS ネットのユーザが付加した着回線アドレス変更通知ファシリティは通知されません。

(2) 網中継転送遅延表示

INS ネットでは着回線アドレス変更通知ファシリティと同様に、本ファシリティは基本サービスです。

発呼DTEが網中継転送遅延表示ファシリティを契約していれば、バーチャルコールに対して要求する転送遅延をCRパケットのファシリティパラメータとして示すことができます。網はこれに対し、着呼ユーザへ転送されるCNパケットと発呼DTEに転送されるCCパケットのファシリティパラメータで、バーチャルコールに適用される転送遅延の値を通知します。この値は、DTパケットの転送遅延を示しています。(網から通知する転送遅延の値は当面一定値とします。)

パケット交換サービスのPTが着呼DTEのときに、着呼DTEが本ファシリティを契約していない場合は、INS ネットのユーザが網中継転送遅延表示ファシリティを付加してもCNパケットにこのファシリティは付加されません。

4.1.3.2 DTEファシリティに関する注意事項

DTEファシリティについても、4.1.3.1項で述べたユーザファシリティと同様にINSネットでは基本サービスとなっている為、INSネットのユーザはDTEファシリティを付加することすることができます。

パケット交換サービスのPTが、DTEファシリティを契約した場合、DTEファシリティを付加すると、INSネットのユーザにトランスベアレントに転送されます。ただし、DTEファシリティ内の各ファシリティの組み合わせが、ファシリティ長（FL）と一致しない場合は切断されます。

（注：FL=X.25ファシリティ長+DTEファシリティ長）

パケット交換サービスのPTが、DTEファシリティを契約していないときに、INSネットのユーザがDTEファシリティを付加したときには切断されます。

4.1.3.3 DTEファシリティのコーディング

CR（CN）パケットのDTEファシリティの中の発アドレス拡張ファシリティ、着アドレス拡張ファシリティ、エンド・エンド転送遅延ファシリティ、最小スループットクラスファシリティ、優先データネゴシエーションファシリティのコードは、表4.1.1のようにコーディングされます。

INSネットユーザへ着信時、これらのDTEファシリティは、Q.931呼設定メッセージの対応する情報要素にマッピングされます。

表4.1.1 DTEファシリティコード一覧

D T E ファ シ リ テ ィ	ファシリティコード ビット 8 7 6 5 4 3 2 1
発 ア ド レ ス 拡 張 フ ァ シ リ テ ィ	1 1 0 0 1 0 1 1
着 ア ド レ ス 拡 張 フ ァ シ リ テ ィ	1 1 0 0 1 0 0 1
エ ン ド ・ エ ン ド 転 送 遅 延 フ ァ シ リ テ ィ	1 1 0 0 1 0 1 0
最 小 ス ル ー プ ッ ト ク ラ ス フ ァ シ リ テ ィ	0 0 0 0 1 0 1 0
優 先 デ ー タ ネ ゴ シ ェ ー シ ョ ン フ ァ シ リ テ ィ	0 0 0 0 1 0 1 1

8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
ファシリティコード								
0	0	0	0	1	0	1	0	1
* M t h 1				* M t h 2				2

M t h 1 : 着呼ユーザから転送する時の最小スループットクラス

M t h 2 : 発呼ユーザから転送する時の最小スループットクラス

* : 両スループットクラスを表示している4ビットは2進数です。

図 4.1.4 最小スループットクラスファシリティフォーマット

表 4.1.2 スループットクラスの指定

ビット位置	4	3	2	1 (C t h 2)	スループットクラス (ビット/秒)
	8	7	6	5 (C t h 2)	
	0	0	0	0	予備
	0	0	0	1	予備
	0	0	1	0	予備
	0	0	1	1	75
	0	1	0	0	150
	0	1	0	1	300
	0	1	1	0	600
	0	1	1	1	1200
	1	0	0	0	2400
	1	0	0	1	4800
	1	0	1	0	9600
	1	0	1	1	19200 (注)
	1	1	0	0	48000 (注)
	1	1	0	1	予備
	1	1	1	0	予備
	1	1	1	1	予備

(注) 提供時期未定です。

8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
ファシリティコード								
0	0	0	0	1	0	1	1	1
0	0	0	0	0	0	0	*	2

* 「0」の時、優先データ送信に使用しません。

「1」の時、優先データ送信に使用します。

図 4.1.5 優先データネゴシエーションファシリティフォーマット

4.2 データ転送手順 (X. 25 (80) Data)

4.2.1 割込み手順の注意事項

この項では、PTがINS ネットのユーザとパケット通信を行う場合のデータ転送手順での注意事項として、ITパケットのユーザデータについて述べます。

INS ネットでは、ITパケットのユーザデータ拡張は基本サービスであり、最大32オクテットのユーザデータの情報をITパケットに付加して送信することができます。

ITパケットのユーザデータ拡張末契約のパケット交換サービスのPTに対して、INS ネットのユーザが2オクテット以上のユーザデータを付加したITパケットを送出した場合、リセットされます。

4.3 パケットフォーマットとパケット内情報

DTEが動作に必要なパケットについて、そのパケットフォーマットとパケット内情報について述べます。

4.3.1 発呼要求 (CR) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

発呼要求 (CR) パケットのフォーマットを図4.3.1aから図4.3.1bまでに、CRパケット内情報一覧を表4.3.1 に示します。

4.3.2 接続完了 (CC) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

接続完了 (CC) パケットのフォーマットを図4.3.2aから図4.3.2bまでに、CCパケット内情報一覧を表4.3.2 に示します。

注) DA, SAを省略時のCCパケットフォーマットについては、インタフェースモジュール図3.2.1項の図57.5b を参照して下さい。

4.3.3 切断指示 (CI) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

切断指示 (CI) パケットのフォーマットを図4.3.3aから図4.3.3bまでに、CIパケット内情報一覧を表4.3.3 に示します。

注) DA, SAを省略時のCIパケットフォーマットについては、インタフェースモジュール図3.2.2項の図57.7a から図57.7c を参照して下さい。

4.3.4 着呼 (CN) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

着呼 (CN) パケットのフォーマットを図4.3.4aから図4.3.4cまでに、CNパケット内情報一覧を表4.3.4 に示します。

4.3.5 着呼受付 (CA) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

着呼受付 (CA) パケットのフォーマットを図4.3.5aから図4.3.5dまでに、CAパケット内情報一覧を表4.3.5 に示します。

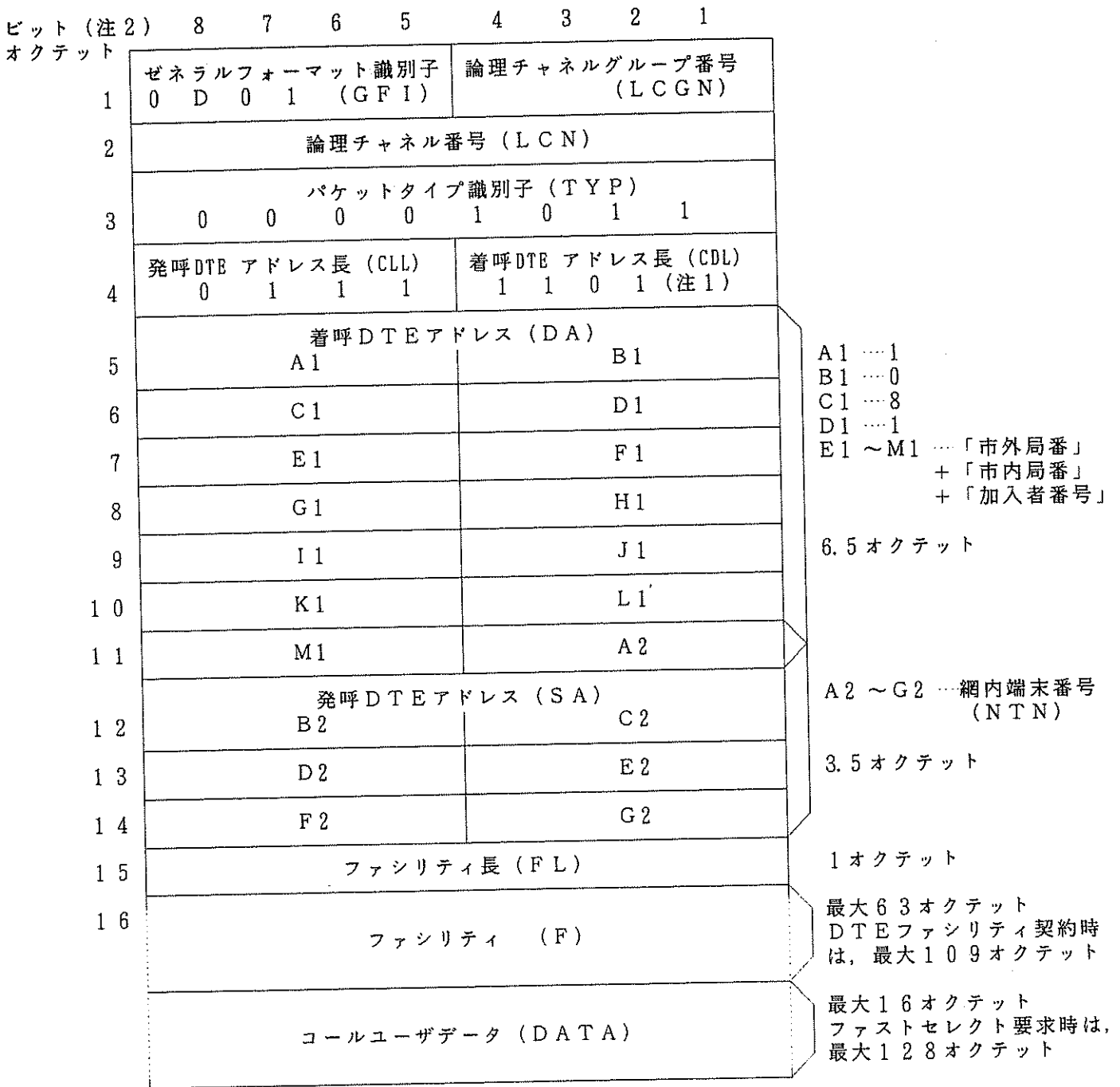
注) DA, SAを省略時のCAパケットフォーマットについては、インタフェースモジュール図 3.3.1 項の図57.11bを参照して下さい。

4.3.6 復旧要求 (CQ) パケットフォーマットとパケット内情報一覧

復旧要求 (CQ) パケットのフォーマットを図4.3.6 に、CQパケット内情報一覧を表4.3.6 に示します。

注) DA, SAを省略時のCQパケットフォーマットについては、インタフェースモジュール図 3.3.2 項の図57.13aから図57.13cを参照して下さい。

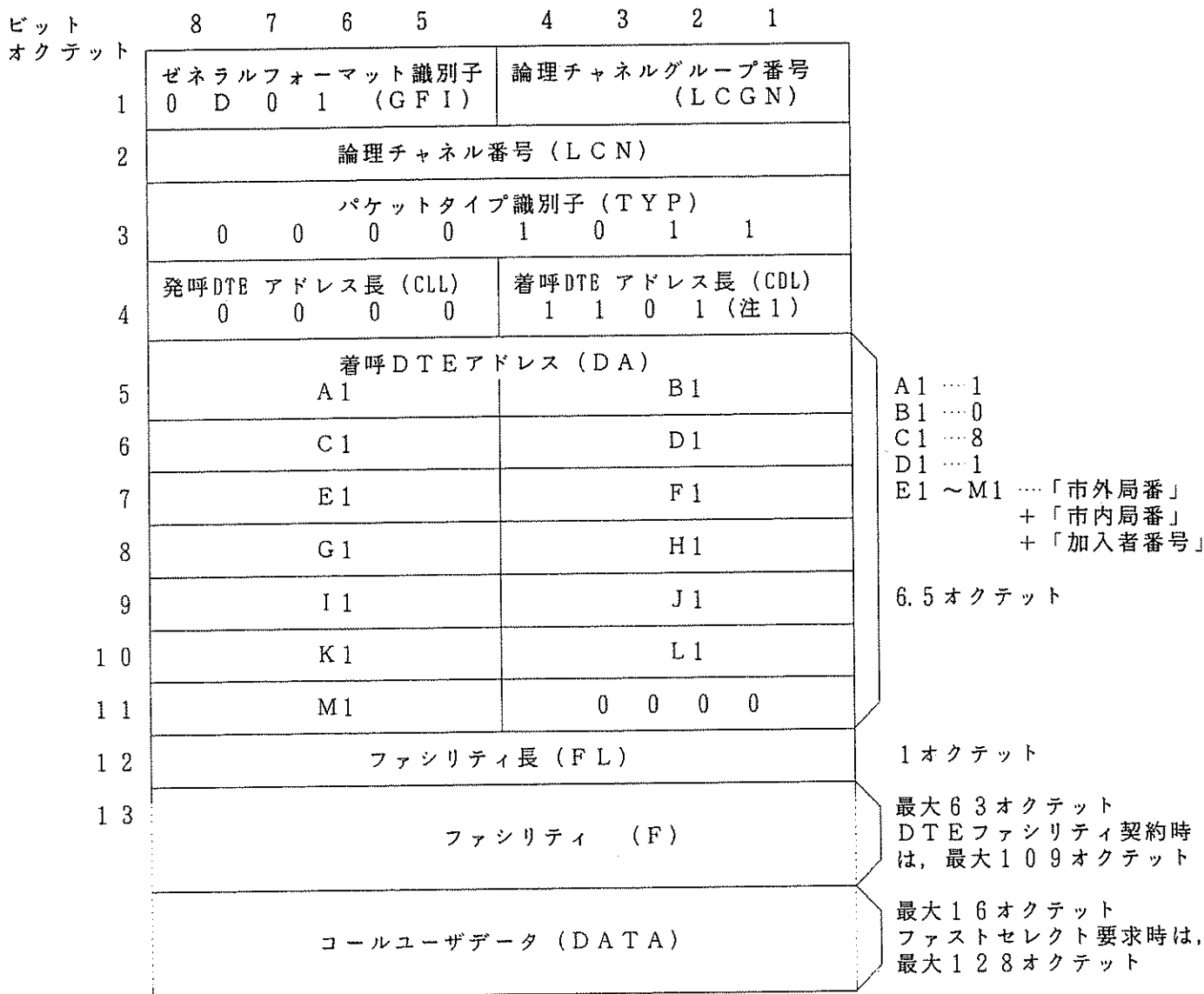
(注) 4.3項で記述している「インタフェースモジュール図」については、技術参考資料「パケット交換サービスのインタフェース (PT編) 第2版」に記載されています。



(注1) 着呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

(注2) 回線上には若番のオクテットのビット1からビット8の順序で送信するものとします。

図4.3.1a CRパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
 (SA, DAを表示した場合)



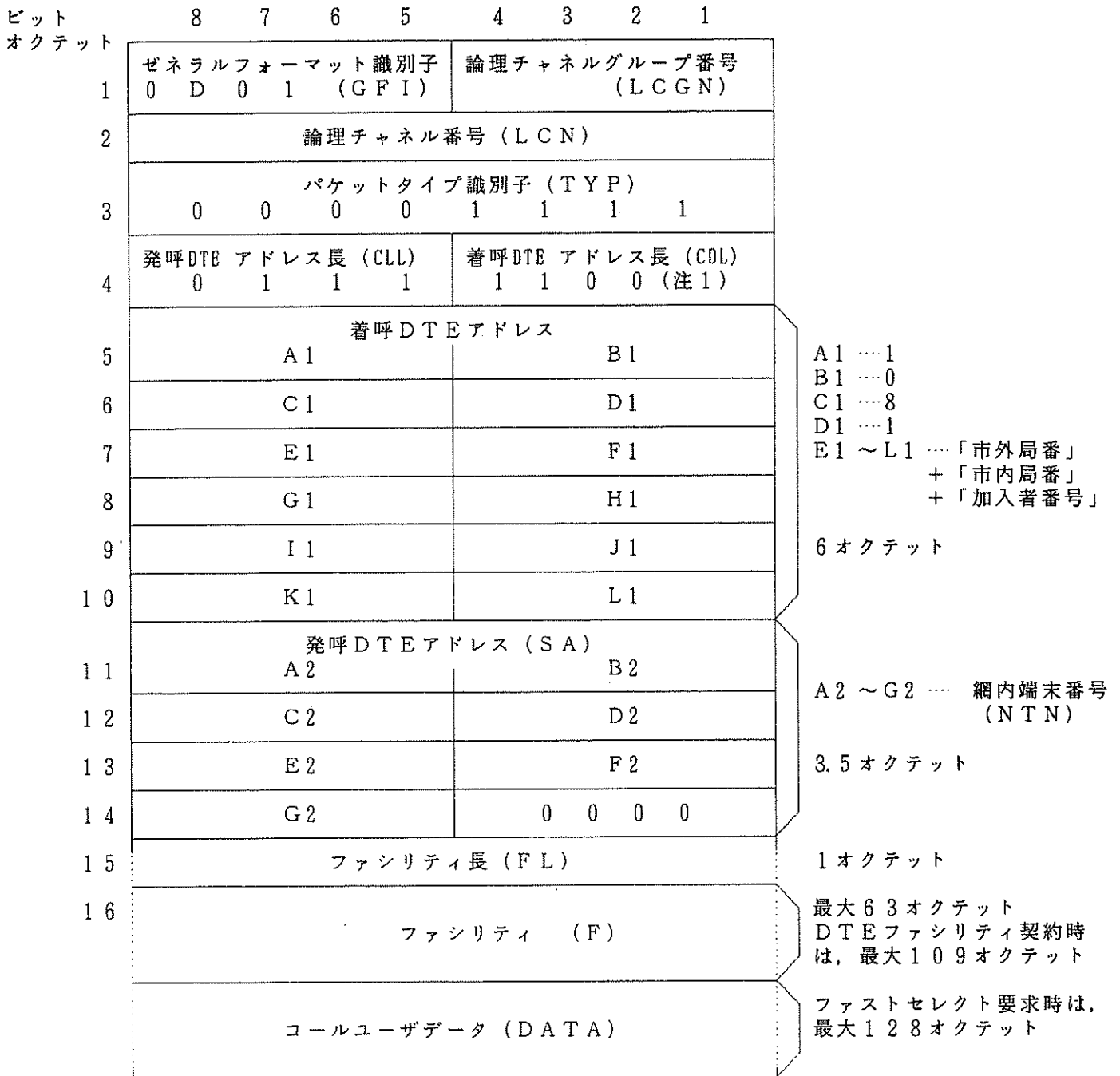
(注1) 着呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

図4.3.1b CRパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(SAを省略した場合)

表4.3.1 CRパケット内情報一覧

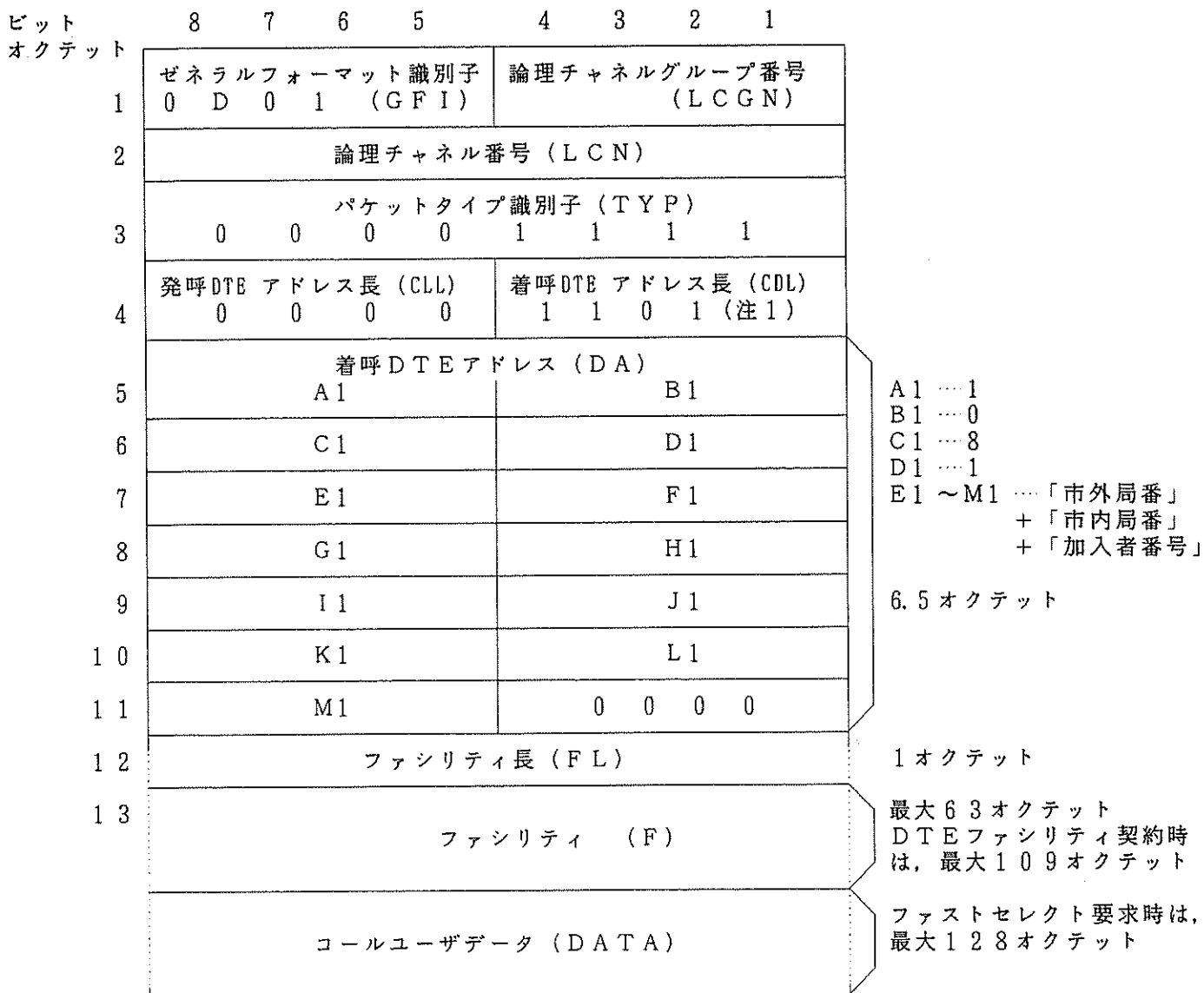
分類	名 称	略 号	記 事
基	ゼネラルフォーマット識別子	GPI	ビット8～5に「0D01」を挿入します。
	論理チャネルグループ番号	LCGN	使用する論理チャネルのLCGNとLCNを2進数表示で挿入するものとします。(インタフェースモジュール図3.6項参照)
	論理チャネル番号	LCN	
本	パケットタイプ識別子	TYP	CRパケットでは、ビット8～1に「00001011」を挿入するものとします。
	発呼DTEアドレス長	CLL	発呼DTEアドレスを挿入する場合は、ビット8～5に「0111」を挿入するものとします。 発呼DTEアドレスを挿入しない場合は、「0000」を挿入するものとします。
	着呼DTEアドレス長	CDL	着呼DTEアドレス長をビット4～1に2進数表示で挿入するものとします。
情	着呼DTEアドレス	DA	着呼契約者番号を2進10進数(4ビット)で挿入するものとします。 DAフィールドとSAフィールドのオクテット数の合計が奇数となる場合、または、SAが省略されたときに、DAが奇数となる場合は、アドレスフィールドの最終オクテットのビット4～1に「0000」を挿入するものとします。
	ファシリティ長	FL	ファシリティフィールドのオクテット数を2進数表示で挿入するものとします。
付	発呼DTEアドレス	SA	発呼契約者回線番号を2進10進数(4ビット)7桁(A ₂ ～G ₂)で挿入するものとします。
	ファシリティ	F	ファシリティコードとファシリティパラメータによりユーザファシリティを指定します。(DTEファシリティを含む)詳細はインタフェースモジュール図の3.8項及び3.9項を参照して下さい。
(注)	コールユーザデータ	DATA	ユーザの任意のデータが挿入でき、最大16オクテットとします。ファストセレクト要求ファシリティがある時は、最大128オクテットとします。

(注) 付加情報は省略されることがあります。



(注1) 着呼DTEアドレスが12桁と仮定した場合です。

図4.3.2a CGパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(SA, DAを表示した場合)



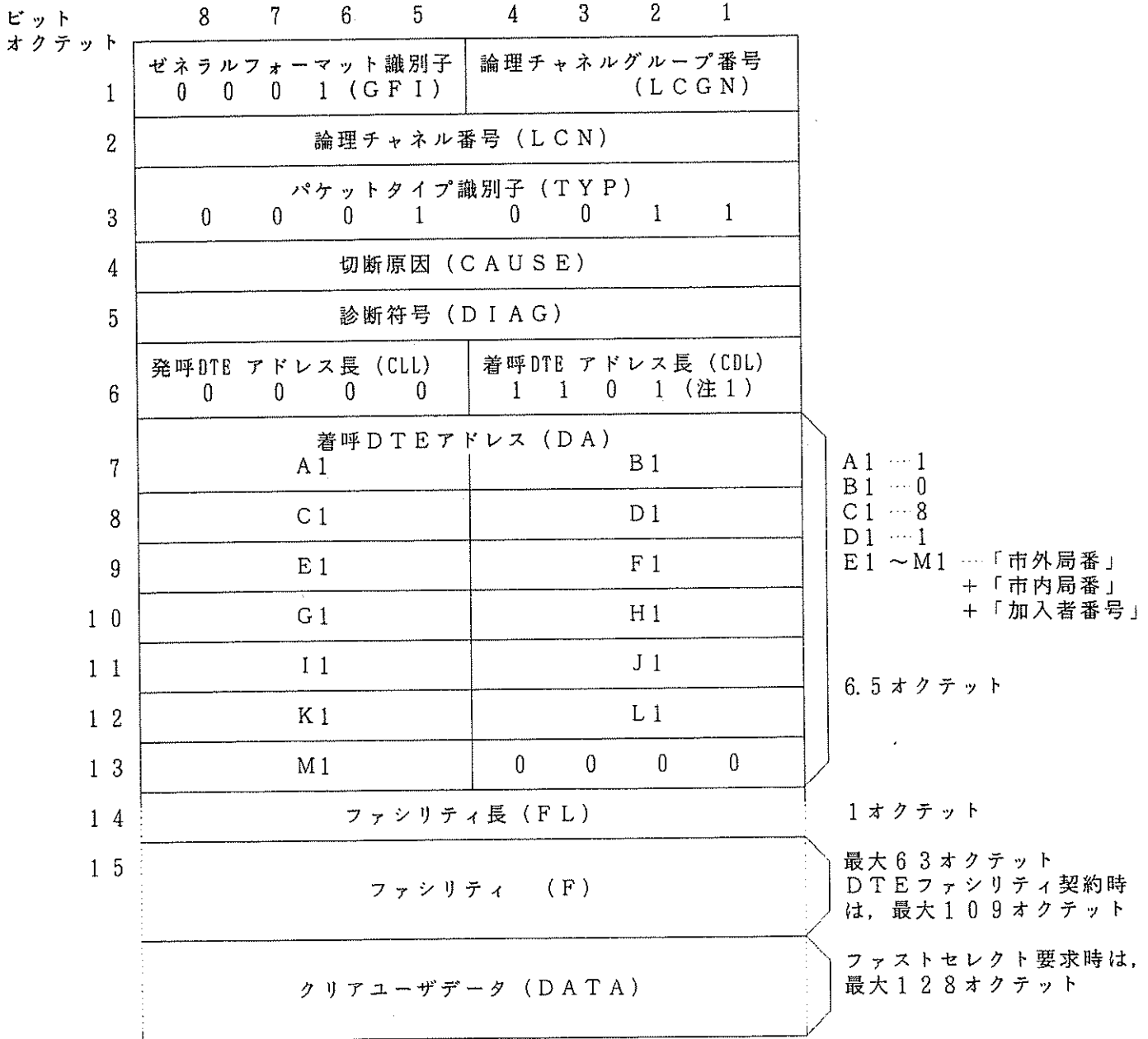
(注1) 着呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

図4.3.2b CCパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(SAを省略した場合)

表4.3.2 CCパケット内情報一覧

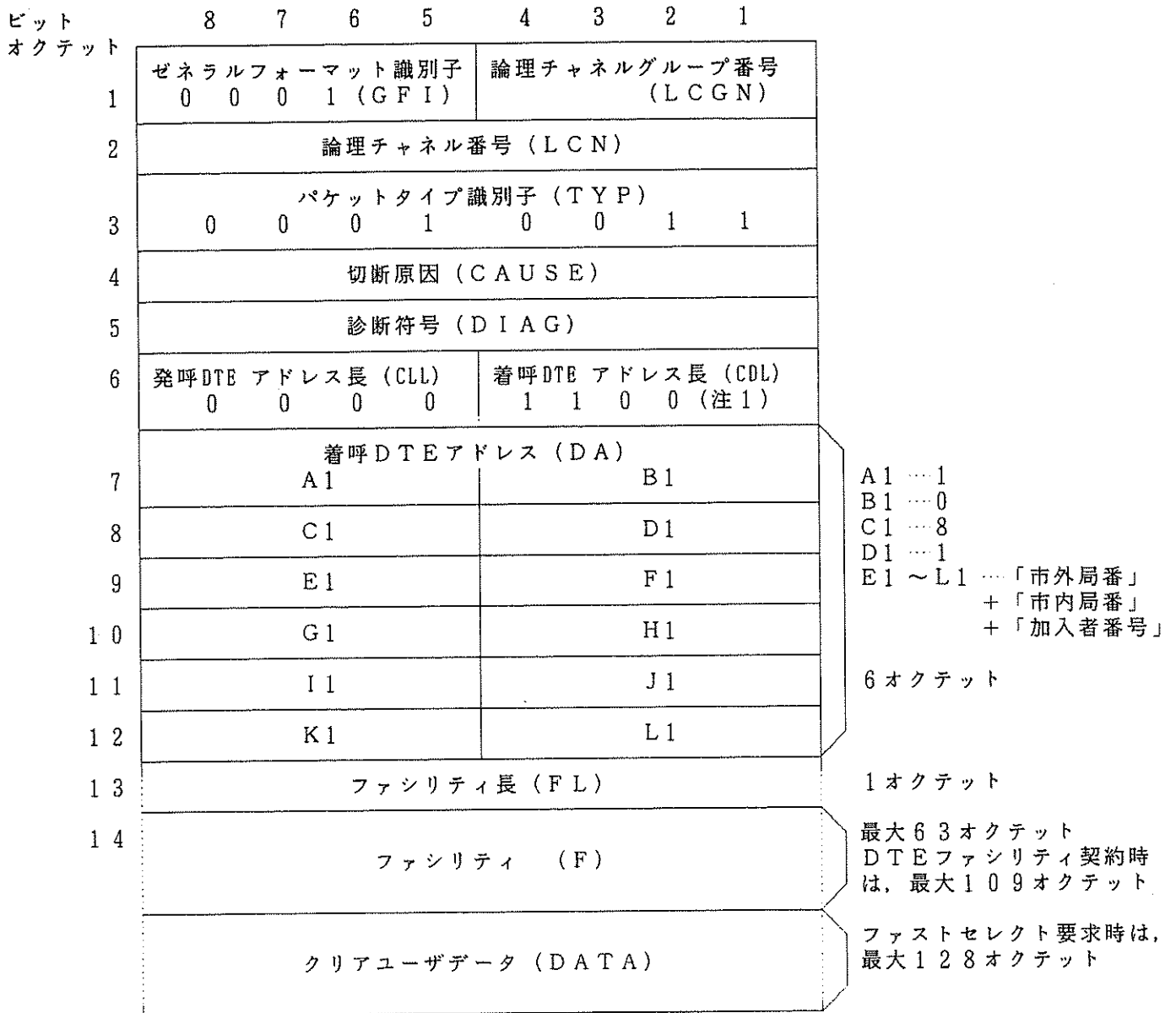
分類	名 称	略 号	記 事
基 本 情 報	ゼネラルフォーマット識別子	GFI	ビット8～5に「0D01」を挿入するものとします。
	論理チャンネルグループ番号	LCGN	CRパケットと同一のLCGNとLCNを挿入します。
	論理チャンネル番号	LCN	
	パケットタイプ識別子	TYP	ビット8～1に「00001111」を挿入します。
	DTEアドレス長	CLL CDL	着呼DTEがCAパケットに挿入したアドレスフィールドの長さを表示します。DAまたはSAが省略されたときは、その部分に「0000」を挿入します。
	ファシリティ長	FL	ファシリティフィールドのオクテット数を2進数表示で挿入します。
付 加 情 報 (注)	DTEアドレス (着呼) (発呼)	DA SA	着呼DTEがCAパケットに挿入したアドレスをそのまま挿入します。着呼DTEがどちらかまたは両方を省略した場合、その部分は設けられません。また、SAまたはDAが奇数のとき、及びその合計が奇数のときは、アドレスフィールドの直後のセミオクテットには「0000」が挿入されます。
	ファシリティ	F	ファシリティコードとファシリティパラメータによりユーザファシリティを指定します。(DTEファシリティを含む) 詳細はインタフェースモジュール図の3.8項及び3.9項を参照して下さい。
	コールユーザデータ	DATA	着呼DTEからのデータがある場合、着呼受付(CA)パケットのコールユーザデータがそのまま挿入されます

(注) 付加情報は省略されることがあります。



(注1) 着呼DTEアドレスを13桁とした例です。

図4.3.3a C1パケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(着ユーザが着回線アドレス変更通知ファシリティを付加した場合)



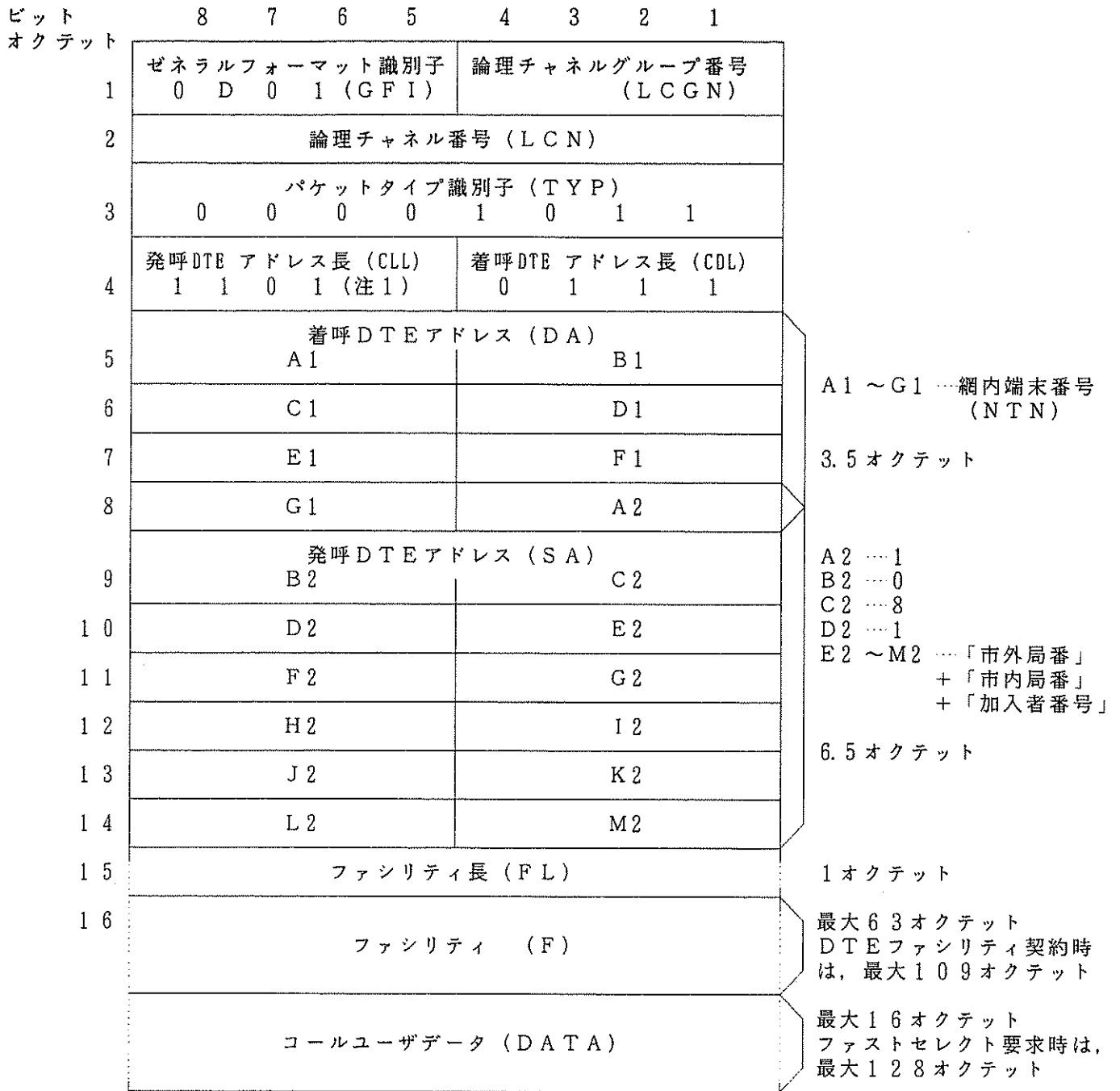
(注1) 着呼DTEアドレスを12桁とした例です。

図4.3.3b C1パケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(着ユーザが着回線アドレス変更通知ファシリティを付加した場合)

表4.3.3 C I パケット内情報一覧

分類	名 称	略 号	記 事
基 本 情 報	ゼネラルフォーマット識別子	GPI	ビット8～5に「0001」を挿入します。
	論理チャネルグループ番号	LCGN	CRパケットと同一のLCGNとLCNを挿入します。
	論理チャネル番号	LCN	
	パケットタイプ識別子	TYP	ビット8～1に「00010011」を挿入します。
	切 断 原 因	CAUSE	インタフェースモジュール図3.2.2項“表57.5a”の切断原因のうちの1つを表すコードを挿入します。
付 加 情 報 (注)	診 断 符 号	DIAG	<p>1. 着呼DTEによる復旧要求時、又は着呼拒否時(CAUSE = 「00000000」)は、着呼DTEから送信されるCQパケットの診断符号を挿入します。(CQパケットに診断符号がない場合は、「00000000」が付加されます。)</p> <p>2. リスタート時は、CAUSE = 「00000000」です。ビット8～1にSQパケットの診断符号を挿入します。ただし、SQパケットに診断符号がない場合はビット8～1に「00000000」を挿入します。</p> <p>3. 前2項以外の切断原因のときは、ビット8～1にインタフェースモジュール図3.2.2項“表57.5b”の診断符号を挿入します。</p>
	D T E ア ド レ ス 長	CLL CDL	ビット8～1に「00000000」を挿入します。なお、発呼DTEが着回線アドレス変更通知ファシリティ契約時、着呼DTEがCQパケットに挿入したアドレス情報フィールドの長さを表示します。
	D T E ア ド レ ス (着 呼) (発 呼)	D A S A	発呼DTEが着回線アドレス変更通知ファシリティ契約時、着呼DTEがCQパケットに挿入したアドレスがあればそのまま挿入します。
	フ ァ シ リ テ ィ 長	FL	ファシリティフィールドのオクテット数を2進数表示で挿入するものとします。
	フ ァ シ リ テ ィ	F	ユーザファシリティが指定されます。(DTEファシリティを含む)詳細はインタフェースモジュール図3.8項及び3.9項を参照して下さい。
ク リ ア ユ ー ザ デ ー タ	DATA	<p>1. 切断原因フィールドが「00000000」又は「1XXXXXXX」の場合、着呼DTEからのCQパケットにクリアユーザデータがあれば、その内容を挿入します。</p> <p>2. 切断原因フィールドが「00000000」又は「1XXXXXXX」以外の場合は付加しません。</p>	

(注) 付加情報は省略されることがあります。



(注1) 発呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

図4.3.4a CNパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(DA・SAを表示した場合)

ビット オクテット	8	7	6	5	4	3	2	1
1	ゼネラルフォーマット識別子 0 D 0 1 (GFI)				論理チャンネルグループ番号 (LCGN)			
2	論理チャンネル番号 (LCN)							
3	パケットタイプ識別子 (TYP) 0 0 0 0 1 0 1 1							
4	発呼DTE アドレス長 (CLL) 1 1 0 0 (注1)				着呼DTE アドレス長 (CDL) 0 1 1 1			
5	着呼DTEアドレス (DA) A1				B1			
6	C1				D1			
7	E1				F1			
8	G1				A2			
9	発呼DTEアドレス (SA) B2				C2			
10	D2				E2			
11	F2				G2			
12	H2				I2			
13	J2				K2			
14	L2				0 0 0 0			
15	ファシリティ長 (FL)							
16	ファシリティ (F)							
	コールユーザデータ (DATA)							

A1 ~ G1 ... 網内端末番号 (NTN)

3.5 オクテット

A2 ... 1
B2 ... 0
C2 ... 8
D2 ... 1
E2 ~ L2 ... 「市外局番」
+ 「市内局番」
+ 「加入者番号」

6 オクテット

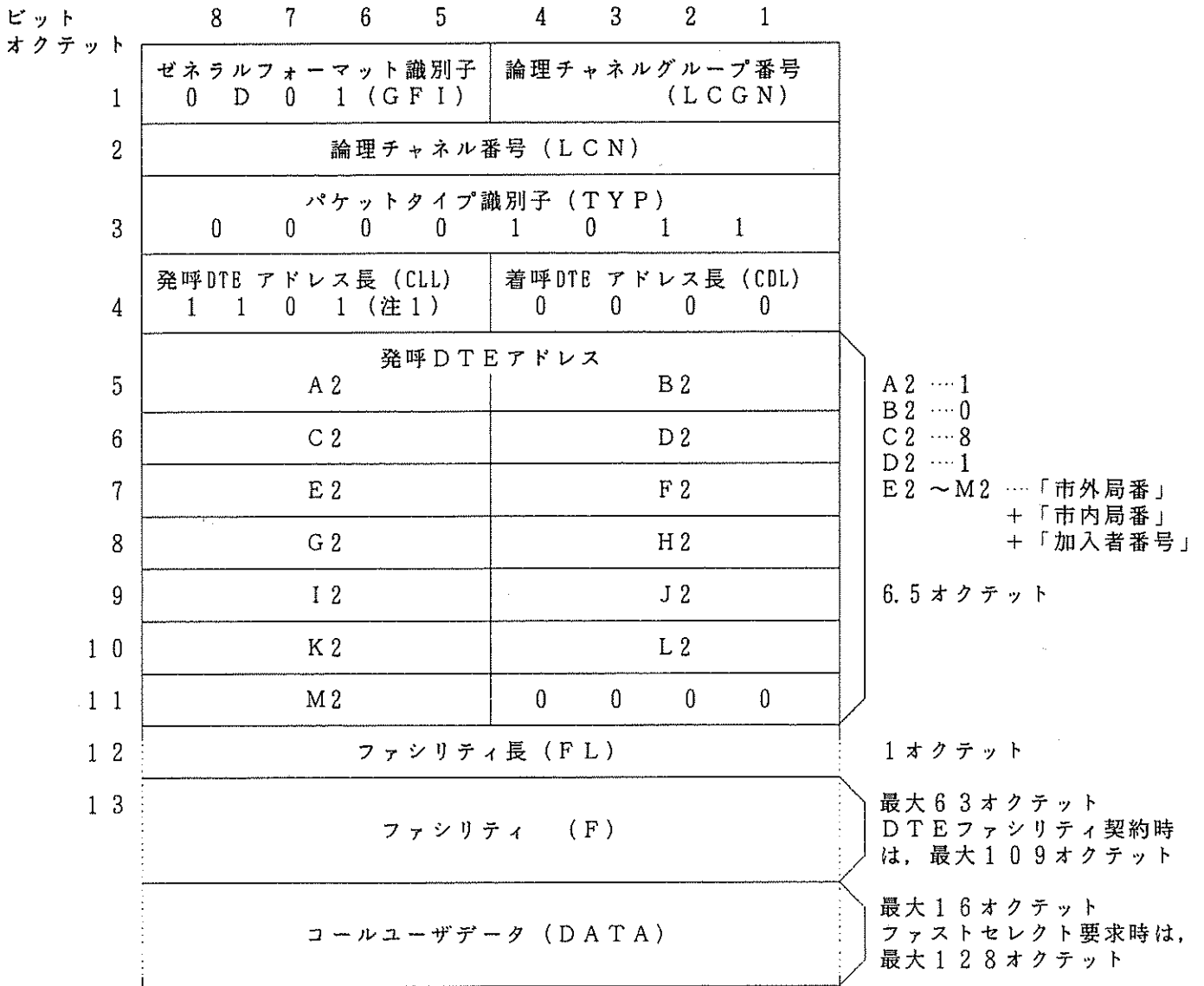
1 オクテット

最大63オクテット
DTEファシリティ契約時は、最大109オクテット

最大16オクテット
ファストセレクト要求時は、最大128オクテット

(注1) 発呼DTEアドレスが12桁と仮定した場合です。

図4.3.4b CNパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(DA・SAを表示した場合)



(注1) 発呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

図4.3.4c CNパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(DAを省略した場合)

表4.3.4 CNパケット内情報一覧

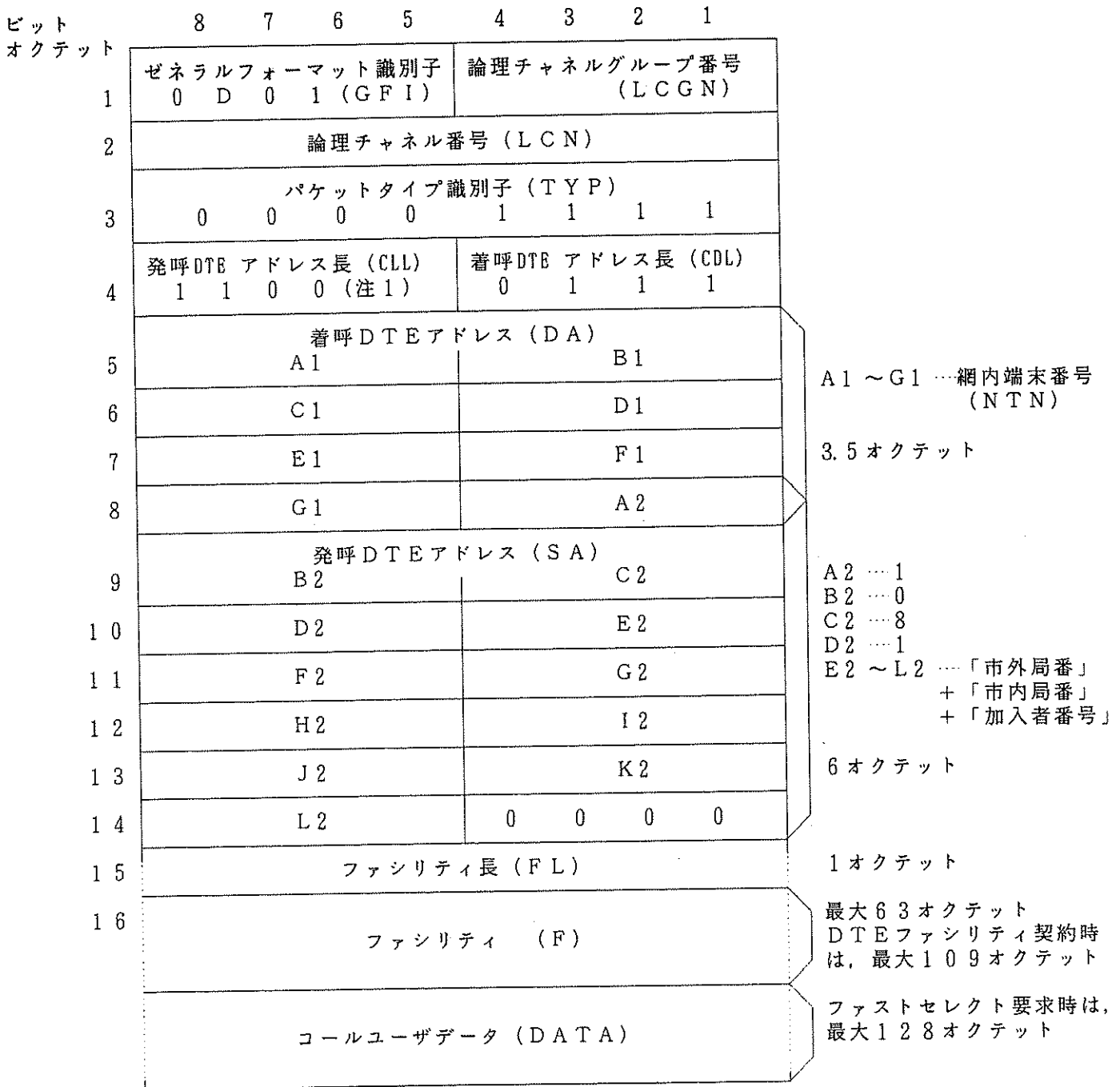
分類	名 称	略 号	記 事
基	ゼネラルフォーマット識別子	GFI	ビット8～5に「0D01」を挿入します。
	論理チャネルグループ番号	LCGN	着呼DTEが契約している発着信共用（一般）又は着信専用のLCGNとLCNのうち、他の呼によって使用されていない最小のLCGNとLCNを選択し、挿入します。
	論理チャネル番号	LCN	
本	パケットタイプ識別子	TYP	ビット8～1に「00001011」を挿入します。
	発呼DTEアドレス長	CLL	発呼DTEアドレス長として、ビット8～5に「2進数表示」で挿入します。
情	着呼DTEアドレス長	CDL	着呼DTEアドレスを挿入する場合は、ビット8～5にアドレス長を2進数表示で挿入します。 着呼DTEアドレスを挿入しない場合は、「0000」を挿入します。
	発呼DTEアドレス	SA	発呼契約者回線番号を2進10進数（4ビット）で挿入します。
報	ファシリティ長	FL	ファシリティフィールドのオクテット数を2進数表示で挿入するものとします。
	付 加 情 報 (注)	着呼DTEアドレス	DA
ファシリティ		F	ユーザファシリティが挿入されます。（DTEファシリティを含む）詳細はインタフェースモジュール④の3.8項及び3.9項を参照して下さい。
コールユーザデータ		DATA	発呼要求（CR）パケットと同一のコールユーザデータを挿入します。最大16オクテットですが、ファシリティでファストセレクトを付加したときは、最大128オクテットまで送達可能です。

(注) 付加情報は省略されることがあります。

ビット オクテット	8	7	6	5	4	3	2	1	
1	ゼネラルフォーマット識別子 0 D 0 1 (GFI)				論理チャンネルグループ番号 (LCGN)				
2	論理チャンネル番号 (LCN)								
3	パケットタイプ識別子 (TYP) 0 0 0 0 1 1 1 1								
4	発呼DTE アドレス長 (CLL) 1 1 0 1 (注1)				着呼DTE アドレス長 (CDL) 0 1 1 1				
5	着呼DTEアドレス (DA) A1				B1				A1 ~ G1 ... 網内端末番号 (NTN) 3.5オクテット
6	C1				D1				
7	E1				F1				
8	G1				A2				
9	発呼DTEアドレス (SA) B2				C2				A2 ... 1 B2 ... 0 C2 ... 8 D2 ... 1 E2 ~ M2 ... 「市外局番」 + 「市内局番」 + 「加入者番号」 6.5オクテット
10	D2				E2				
11	F2				G2				
12	H2				I2				
13	J2				K2				
14	L2				M2				
15	ファシリティ長 (FL)								1オクテット
16	ファシリティ (F)								最大63オクテット DTEファシリティ契約時 は、最大109オクテット
	コールユーザデータ (DATA)								ファストセレクト要求時は、 最大128オクテット

(注1) 発呼DTEアドレスが13桁と仮定した場合です。

図4.3.5a CAパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(SA・DAが存在する場合)



(注1) 発呼DTEのアドレスが12桁と仮定した場合です。

図4.3.5b CAパケットのフォーマット (DDX-INS通信例)
(SA・DAが存在する場合)

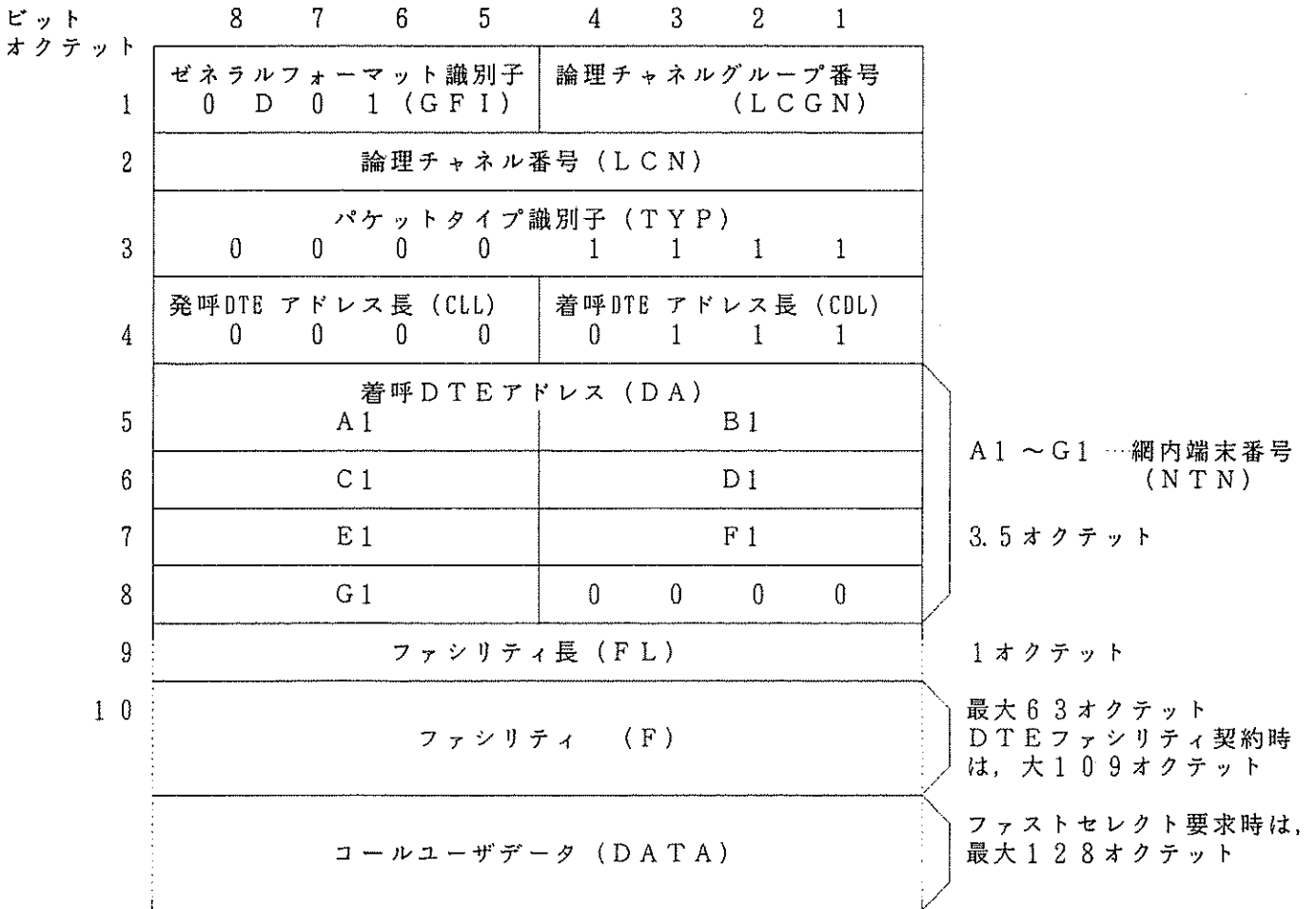


図4.3.5c CAパケットのフォーマット (QDX-INS通信例)
(DAが存在する場合)